

# 序文

## 小教理問答書を大教理問答書の水準まで補った 効果的な教理解説書

清教徒たちの教会改革の頂点で作成された文書が、ウェストミンスター標準文書 Westminster Standards (教会政治と礼拝規範、信仰告白書、大教理問答、小教理問答) です。標準文書の中で、その一つであるウェストミンスター小教理問答書は、大教理問答書を要約した文書です。大教理問答書は、その分量が小教理問答書に比べ、はるかに多く、内容にあっても詳しいです。一般的に教会では、大教理問答書をもって教理を教えたりはしません。分量からして、時間が多くかかるからです。従って大部分の教会は小教理問答書を教えます。ところが、小教理問答書は家庭で子供たちを教えるための目的で構成されているから、より深い内容のためには、大教理問答書を参考にすべきです。

本書は小教理問答書の簡略さを克服するために、小教理問答書を大教理問答書の水準まで補って説明しました。簡単に申しますと、小教理問答書と大教理問答書の間程度の水準で教理を説明しています。筆者は「52週スタディ、ウェストミンスター小教理問答」をすでに出版していますが、教理をより高い水準で教えようとする牧会者たちの要請に応じて、本書を執筆しました。従って、本書とすでに出版されている筆者の教理問答書を持ち、聖徒たちの霊的水準に合わせて使用するなら、聖徒たちの信仰の体系が立てられる効果をもたらすと確信します。

韓国清教徒研究所所長、Southwestern Reformed Seminary 教授  
金洪晩牧師 (Ph.D)

# 1 章

## 質問 I

### 人生の目的：神を礼拝すること

**質問 1** 人間のおもな、目的は何ですか。

**答え I** 人間のおもな目的は、神の栄光をあらわし、永遠に神を喜ぶことです。

1. 人間の一番、おもな目的は何ですか。

神の栄光を現すことです。神の栄光を現すこととは、神がなさった働きと神の御名を賛美し、神に栄光を帰することです（1 歴代 16:28-29）。神が人間を創造されました。また、新生するように、贖われる目的も神の栄光を現すためです（1 コリント 4:19-20）。それゆえ、信者はすべてのことにおいて、神を認め、感謝することです（1 コリント 3:21-23）。

2. 人間にとって一番、幸せなのは何か。

神の御名を覚えながら、喜びながら、楽しむことです（イザヤ 26:8）。しかし、アダムが罪を犯し、神を喜ぶ交わりが壊れてしまいました。従って、キリストを信じることで（ヨハネ 1:16）キリストにつき合わされて、神との交わりを持つことができます（ロマ 5:18-19）。信者は外的に、個人的礼拝と、公の礼拝は勿論、聖書を読み、黙想し、祈る方法を通して、神との交わりができ喜びを持つことができます。

### 3. 神の栄光を現すことと、喜ぶこととは、どのような関係を持っているのでしょうか。

神の主権的な恵みと、聖霊の御業によって、キリストを信じるようになることから、神の栄光を現すことができ、神を喜ぶことが出てきます（エペソ 2:8；ヨハネ 16:6）。私たち自身を目的とし、個人の楽しみを追求するなら、神が私たちが創造し、贖われた目的から外れることです。キリストにあって永遠の命を持っている者は、自分の目的を追求しません（テトス 1:2）。それに加えて、神の栄光を現すことと、喜ぶことは、永遠なる神であるから永遠なのです（詩 48:14）。

### 4. 神の栄光を現し、神を喜ぶために、私たち自身は、知識が十分ですか。

人間が墮落した以降、理性と理解力が暗くなって、神の栄光を現すための知識はありません。人間は愚かさや無知に陥っています（ヨブ 11:12）。従って、神がご自身の御心を啓示なさいました（ロマ 12:2）。特に神は、ご自身自ら、人間を造られた目的が回復できる方法を、旧・新約の御言葉に啓示なさっておられます（ヨハネ 5:39）。